

2022年2月21日

## 業務用スマートフォンによる 業務効率化・生産性向上に向けた取組みについて ～「受取証アプリ」の導入～

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）は、2022年2月21日（月）、業務用スマートフォンにおいて「受取証アプリ」を導入いたしましたので、お知らせします。

当行では、中期経営計画「MVP 70」（2019～2022年度）において、「人とデジタルの融合」を標榜した成長戦略を遂行するとともに、その前提となるインフラ構築などに取組んでおります。

こうした取組みの一環として、業務用スマートフォンを全行員に配備し、コミュニケーションアプリ等のクラウドサービスを積極的に活用することで、新たなお客さま接点創出や業務効率化・生産性向上に繋がるワークスタイル改革に注力しております。

今般の「受取証アプリ」はこれらの取組みに連なるもので、お客さまより通帳等をお預りする際に発行する「受取証」をアプリ上での電子署名に代え、ペーパーレス化を図るとともに、NFC<sup>注</sup>を活用し、銀行内における授受や事務処理などの際の管理業務に要する時間を大幅に短縮いたします。

これにより、お客さまのご負担軽減と、事務の堅確化・効率化を両立し、面談時におけるお客さまニーズに一層寄り添った対応を実現してまいります。

なお、本アプリにつきましては、順次各営業店へ展開し、2022年5月までに全店への導入を完了させる予定です。

当行は今後もDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進を通じ、お客さまサービスの更なる向上に向け取組んでまいります。

注 Near Field Communication の略。近距離無線通信の国際規格であり、かざすのみ（非接触）での機器認証が可能となる技術です。

NFCを活用した預り物件の授受等管理機能は、2020年4月に常陽銀行（茨城県水戸市）が特許を取得しており、今回の「受取証アプリ」は本特許による機能を使用しています。

報道機関からのお問い合わせ先  
総合企画部 デジタル化推進室  
DX推進プロジェクトチーム 中西亮太  
TEL：048-641-6111（代）